

## 平成25年度 第1回 九州工業大学 経営協議会 議事次第

日 時 平成25年 6月18日(火) 13:00~15:00

場 所 百周年中村記念館 特別会議室

### 開 会

- 議長挨拶
- 委員の紹介
- 欠席者等の案内
- 平成24年度第7回議事要旨の確認
- 平成24年度第8回持ち回り会議の審議結果

### 〔審議事項〕

- (1) 職員就業規則の制定及び一部改正について
- (2) 職員等の訴訟支援に関する規則の制定について
- (3) 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
- (4) 平成24年度決算について
- (5) 平成26年度概算要求について
- (6) 経営協議会から選出する学長選考会議委員について

### 〔報告事項〕

- (1) 学長特別補佐の任命について

### 〔その他〕

- (1) 平成25年度経営協議会 開催日程

議長謝辞

閉 会

## 国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成25年度第1回）

1. 日 時 平成25年6月18日（火）13:00～14:50
2. 場 所 戸畑キャンパス 百周年中村記念館 特別会議室
3. 出席者 古賀委員，高原委員，豊川委員，成清委員，西田委員，袴田委員，濱田委員，藤井委員（五十音順）  
学長，理事（評価・総務担当），理事（教育・情報担当），  
理事（研究・産学連携担当），理事（労務・財務担当），  
副学長（経営戦略担当），  
工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長
4. 列席者 監事（教育・研究担当），監事（経営・財務担当）  
副学長（入試担当），  
学長特別補佐（広報担当），学長特別補佐（評価担当）

### 5. 議長挨拶

議長から，開会にあたり挨拶があり，その後今回から新たに学外委員4名が就任されたため，略歴の紹介があった。

### 6. 会議成立

構成員18名のところ，17名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

### 7. 議事録の確認

平成24年度第7回経営協議会（平成25年3月14日）の議事要旨についての確認及び第8回持ち回り会議の審議結果について説明があり，了承された。

### 8. 審議事項

#### （1）職員就業規則の制定及び一部改正について

学長，人事課長より，夏季全学一斉休業に関する規程の制定及び国家公務員退職手当法等の改正に伴う本学職員退職手当規程，職員の早期退職に関する規程の一部改正について，今後過半数代表者，組合との協議のうえ進めていく旨説明があり，審議の結果，了承された。

#### （2）職員等の訴訟支援に関する規則の制定について

理事（評価・総務担当）より，職員等が提訴された場合，業務上の行為による訴訟に限り支援することを目的とした規則を制定することについて説明があり，審議の結果，了承された。

また，訴訟に関し次のような意見等があった。

（○：学外委員，△：学内委員）

○： 訴訟費用等は，引当金で補っているのか。

△： 訴訟費用等は臨時的なものであり，予備費を使って対応している。ただ，金

額が高額になると銀行から借り入れする場合も考えられる。

○： 事故等が日常的に起こりうる環境にあるため、各種事象に対応した保険について検討する必要があるのでは。

△： 本学では国立大学協会が運営する保険に加入しているが、この保険だけではカバーできない事象もあるため、特殊な保険等に参加して対応している。今回の規則を制定することで職員等が安心して業務に従事することを考えている。

### **(3) 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について**

理事（評価・総務担当）より、概要版に基づき平成24事業年度の実績を中心に説明が行われ、以下のとおり意見等が述べられた。

（○：学外委員，△：学内委員）

○： 学生のグローバル化について、留学や英語力の強化等、大学としての取り組みや基本方針について伺いたい。

△： 国際戦略室において基本方針を作成しており、英語力や教養力を総合的に考えている。昨年度、大学が海外へ送り出した学生数は400名程で、明専会からの支援も加え、できる限り予算の範囲内で行っているが全学生数の1割も満たない。情報工学部ではIIFプログラム、工学部では学生寮でのグローバル教育、ランゲッジ・ラウンジの開設によって特定の学生に英語力の強化を進めているが、将来的には2～3割の学生に海外を経験させたいと考えている。また、大学として国内での教育と海外での教育をセットで重要視している。

△： グローバル人材の育成教育について、学内においてはグローバル教育、語学教育、留学生との交流プログラムを、海外ではショートステイ、留学、インターンシップ等を進めている。

○： グローバル化は、大学が与えるものではなく、学生自ら海外に出ていく発想がないと社会に置いて行かれる。現在はそういったグローバル社会であるといった考え方を学生に教えていく必要がある。

△： グローバル化に対して、学生の意識も少しずつ変わってきているが、逆に全く意識のない学生もいるため、対応を検討する必要がある。

以上の意見等を踏まえて、学長の責任において修正を行うことが了承され、役員会に付議することとした。

### **(4) 平成24年度決算について**

理事（労務・財務担当）より、資料に基づき平成24年度決算について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

### **(5) 平成26年度概算要求について**

理事（労務・財務担当）より、資料に基づき平成26年度概算要求について説明があり、審議の結果、要求事項の優先順位等については、学長に一任することで、原案のとおり了承された。

## (6) 経営協議会から選出する学長選考会議委員について

理事（労務・財務担当）より、前任者の退任に伴う後任者を経営協議会から選出することについて説明があり、下記の委員を選出する提案について審議し、了承された。

・高原委員（卒業生・同窓生）

## 9. 報告事項

### (1) 学長特別補佐の任命について

学長より、学長特別補佐を任命したことについて報告があった。

## 10. その他

### (1) 平成25年度経営協議会 開催日程

学長より、開催日程について説明があり、今年度は戸畑キャンパスにて行う旨、報告があった。

### (2) 意見等

本学の取り組み等について、次のとおり意見等があった。

(○：学外委員，△：学内委員)

○： 4月より障害者雇用率が2%に改正され、障害者雇用については高度な技術を持つ優秀な学生の取り合いになっており、弊社も大学へ足を運んでいる。貴学での障害のある学生について現状を伺いたい。

△： 障害のある学生の大学在籍率は全国平均0.3%程度で、本学では0.18%と全国平均を下回っている。ただし、大学院の在籍率では0.25%と全国平均を上回っており、進路についても企業の協力により問題なく就職している。障害者の絶対数が少ないため、大学入学への取り組みが今後の検討課題となっている。

○： 女子学生の在籍数について、学部・学科の割合を伺いたい。

△： 学部では工学部より情報工学部の方が多く、学科では建設社会、化学、生命情報といった専門分野で女子学生が多く在籍している。全学的にみると12%が女子学生となっており、大学院では7%程度と在籍率が低くなっている。

○： 貴学では、女子学生の入学についていろんな形で対応しているが、もっと女子学生数を増やしてほしい。

△： 高校において物理を苦手とする女子学生が多いため、工学部を希望する受験生が少ない。工学系の女性は企業も重要視しているため、希望としては2割まで女子学生を増やしていきたい。

○： 高校では1年の頃から文系・理系と分けるところがあるため、よく理解していない段階で分けることに問題がある。

△： 国の教育再生実行会議でも理系科目の必修化が謳われており、文系でも理系科目を教える必要がある。また、高校の先生には工学部出身の方が少ないため、工学部を理解されていない。今後は広報活動を強化するとともに、現在行っている理事・副学長の高校訪問でも引き続き進めていきたい。